

建設常任委員会

○宇都宮市地区計画区域
域内における建築物
の制限に関する条例
の一部改正

議案の概要

城西ニュー
タウン地区整備計画の変
更に係る都市計画決定に
伴い、計画区域内の地
区の区分を追加し、地
区ごとに建築できる建築
物の規定等を行うとす
るもの。

委員会の結論 全会一致
で原案のとおり可決。



○LRT導入計画の「白
紙撤回」の議決等を求
める陳情

陳情の趣旨 29年度に76
億1千万円の整備費を計
上し、推進しているが、

28年11月の市長選挙の結
果は、過半を超える市民
がLRTは必要ないとの
回答であった。一日も早い
断念・白紙撤回を議決す
ることなどを陳情する。

意見

意見 LRTを整備す
ることで本市の活性化が
可能となるのか、環境に
優しい手法が他にないの
かなどをもう少し慎重に
考える必要があると思っ
たので、採択としたい。

意見 架橋が根本的
な渋滞対策とならないこ
とは、これまでの歴史か
ら明らかであり、新たな
公共交通装置の敷設は合
理的な渋滞対策である。

また、現在のバス路線を
さらに広げるとは難し
いが、これからの超高齢
社会において公共交通の
充実が重要な課題であ
る。そうしたことから、

LRTを中心とした公共
交通の再編をしっかりと
進める必要があると考え
るため、不採択としたい。
委員会の結論 起立採決
の結果、不採択。

文教消防水道常任委員会

○平成29年度宇都宮市
一般会計補正予算
議案の概要

教育費で、
習熟度別学習指導手の
配置数が確定したこと
に伴う学力向上推進費、冒
険活動センターにおける
土壌汚染対策工事の実施
に伴う体育施設等整備費
を追加計上しようとする
もの。

委員会の結論

全会一致
で原案のとおり可決。

○県立高等学校入学選
抜で再募集実施を求
める意見書提出を求
める陳情

陳情の趣旨 栃木県では、
定員割れとなる県立高校
が少なからずあるが、茨城
県などでは、再募集を行っ
て定員を満たすこととして
いる。

市内の県立高校は、多
くが高倍率となってお
り、再募集が実施されれ
ば不合格となった生徒が
新たな進路で活躍するこ
とができることから、栃

木県教育委員会に対し、
県立高等学校入学選抜
で再募集実施を求める意
見書を提出するよう陳情
する。

意見

意見 子どもの貧困や
経済的な格差が問題とな
る中で、倍率の高い県立
高校に合格できなかった
生徒の進路が極端に限ら
れる現状を考えると、陳
情の趣旨は十分に理解で
きるため、この陳情は採
択としたい。

意見 県立高校の入学
選抜は、特色選抜と一般
選抜の実質2回行われて
いる。

また、一般選抜の合格
発表時には私立高校の入
学手続きが行われている
ため、再募集
が行われた場
合、混乱する
ことが懸念さ
れることか
ら、この陳情
は不採択と
したい。

委員会の結論 起立採決
の結果、不採択。



議会運営委員会

○宇都宮市議会基本条例
に書かれている「透明
性・説明につとめる」
旨を尊守し実行を求め
る陳情

陳情の趣旨

議会が決め
たこと、行っていること
に対し、市民から質問があ
れば丁寧な説明をし、委
員会などでの意見発言は
根拠データを含む定量発
言とするよう陳情する。

意見 すべての会議、
委員会が公開されてお
り、透明性は担保されて
いる。また、広報広聴委
員会でも市民意見に丁寧
に回答し、説明につとめ
ている。議員の発言につ
いても、定量発言という意
識に努める必要がある
が、数値にできない価値
観などもあり、一律に定
量発言を求めることはな
じまない
ことから、
この陳情
は不採択
としたい。

委員会の結論 継続審査
を求める意見が退けられ
た後、起立採決の結果、
不採択。



▲本会議の様子

委員会の結論 全会一致
で不採択。

○市民との質疑応答を含め
た議会報告会・説明会の
定期開催を求める陳情

陳情の趣旨

市民に開か
れた分かりやすい議会の
実現のためには、議会が
行っていることを説明する
ことと、市民の意見を聞
くことが大切であるた
め、市民との質疑応答を
含めた議会報告会・説明
会を定期開催するよう陳
情する。

意見 陳情の趣旨は理
解できるが、開催にあた
る課題などもあること
から、この陳情は継続審
査としたい。

意見 広報広聴委員
会で透明性の確保に向け
取り組んでいることか
ら、議会報告会は経過を
見ながら進めていくべき
であり、この陳情は不採
択としたい。

委員会の結論 継続審査
を求める意見が退けられ
た後、起立採決の結果、
不採択。